

松 山 大 学 論 集  
第 35 卷 第 5 号 抜 刷  
2 0 2 3 年 12 月 発 行

# 初習韓国語の基礎共通教材の開発

—— 教材の構成内容と狙い ——

金  
李

菊  
順

熙  
蓮

## 報告書

# 初習韓国語の基礎共通教材の開発

—— 教材の構成内容と狙い ——

金 菊 熙  
李 順 蓮<sup>1)</sup>

## 1. は じ め に

本学における初習韓国語の教育理念及び教育目標に最も適した基礎科目の共通教材を開発するために、これまで過去2回に渡って先行研究を行っている。最初の基礎研究<sup>2)</sup>は、日本で出版されている複数の初級レベルの韓国語教材に載っている学習語彙を一覧化し、数量的な分析を行った。2012年度より基礎科目（ハングル1・ハングル2）<sup>3)</sup>においては共通シラバスを適用するようになったが、それまでの授業ではクラス及び授業担当者ごとに異なる教材を使用していた。また、使用教材の殆どが日本国内で出版されたものであったため、まずはそのような教材を中心に収録語彙を調べ、本学の基礎韓国語の学習到達目標との照合もできると考えた。その結果、調査に用いた10種13冊の初級レベルの教材は、それぞれ提示されている語彙数が異なっていて、共通する語彙も全体の4.8%に過ぎないことが分かった。言い換えると、同じ初級レベルの教材に関わらず、それぞれの学習語彙としての提示内容は大きく異なってい

1) 関西学院大学 言語教育研究センター 朝鮮語常勤講師（元松山大学人文学部講師）

2) 金昌九・金菊熙（2014）「초급 한국어 교재에 제시된 어휘의 목록과 계량적 분석（初級韓国語教材に提示された語彙一覧と計量的分析）」『言語文化研究』33-2, 165-188.

3) 2018年度からは「ハングル」から「韓国語」に名称が変更されている。

ることが言える。

続く基礎研究<sup>4)</sup>では、本学の初習韓国語教育の学習到達目標として「韓国語能力試験 (TOPIK: Test of Proficiency in Korean)<sup>5)</sup>」の初級レベルの合格を定めているが、その具体的な評価内容を本学の基礎韓国語履修者向け共通教材の構成内容として適用することを視野に検討を行った。その結果を踏まえ、TOPIK I (1級)の語彙や文法、テーマ等を本学のカリキュラムに照らし合わせて、教授可能で確実に到達可能な学習目標を定め、基礎韓国語1、2の共通教材の内容を構成することが次の課題として掲げられることとなった。

本報告書は、基礎韓国語1・2の共通教材の作成に至っての具体的な構成内容と狙いをまとめたものである。以下の第2章では本学の韓国語教育に求められる教材の要件をまとめた上で、本学における初習言語科目の共通の教育理念と教育目標を概観した後、基礎科目「韓国語1」と「韓国語2」のシラバスについても簡単に触れたい。続く第3章では、共通教材の構成内容の中の具体的な学習項目を「語彙」「文型表現」「トピック」「その他」に分けて詳述する。さらに第4章では、本学の韓国語教育の学習到達目標に掲げられているTOPIK I (1級)の評価基準と共通教材の内容を学習項目別に対照し、両者間の比較を行う。その結果を踏まえ、最後の第5章では今後の課題についてまとめることにする。

## 2. 初習韓国語のカリキュラムに適した基礎科目共通教材の要件

### 2-1. 共通教材作成の意義

教材の作成にあたってまず考慮しなければならないのは、なぜ「教材」を作るのかという問いである。言い換えると、教材作成の意義や狙いが十分理解さ

4) 金菊熙 (2014)「初級言語教育における相互文化理解の授業のあり方を考える－松山大学の初習言語「ハングル」における授業例を中心に－」『松山大学論集』26-1, 131-171.

5) 韓国の教育部傘下の国立国際教育院が主管となっていて、韓国語を母語としない諸外国語の母語話者向けの韓国語能力を測るための評価基準として公認されている試験である。初回の1997年から2010年までは、韓国教育課程評価院が主管機関となっていた。

れていないと、その意図に適合したものを作成することができないからである。そこでまず以下のように「教材」の定義について考えてみたい<sup>6)</sup>。

…「教育目的及び目標を達成するために教育課程を反映した教育内容を教師と学習者に提供する総体的なツール」「教育目標を効果的に達成するために教授－学習過程で用いられる資料で、教育課程に含まれた教育内容を教育哲学と共に提供する物理的実体を指すもの」「教育を『誰が誰に何を教える行為』と見なす際に『何』に含まれる総体物」…

上記の内容からすると、教材は、それを用いる教育機関の教育目標を提示するものであり、同時に教育課程を具現する手段でもある。そして、教材を通じて教授者と学習者の間で教育目標を達成するための「教授－学習」内容を具体的に共有することにもなる。教授者にとっては、教授すべき内容を提供するほか、どのような教授法のもとで授業を進めていくべきかの基準も与えられる。一方の学習者にとっては、何を学ぶのかを理解するほか、学習項目の予習や復習、そして評価のための対策資料にもなる。さらに、自主的な学習につなげるための学習動機を促す要因としての役割も担うことになるなど、教材の様々な機能からしてもその重要性は十分考えられる。

以上の教材の持つ意義や役割を踏まえ、次節では、本学の基礎韓国語教育にとって最も望ましい教材のあり方を考える上で欠かせない前提事項について触れたい。その1つは、本学で掲げている初習言語の教育理念と教育目標であり、もう1つは、基礎韓国語1・2のシラバスで提示されている具体的な教授・学習目標である。

## 2-2. 現行カリキュラムで見る韓国語教育の目標

現行の言語文化科目のカリキュラムは、2012年度より施行されている。言語文化科目全体の教育目標<sup>7)</sup>では、「国際社会で通用する人材の育成」を基本

6) 韓国語教育学事典（2014：892）を引用。

7) 松山大学言語文化科目のカリキュラムポリシーより。

理念とし、「実践的言語運用能力」と「異文化理解を通しての多角的な視点」を身につけることを目的としている。

以下では、本学における初習言語科目の教育体系を理解するために、韓国語を例として図式化したものを示した。その中でも1年次向け韓国語基礎科目の場合、年間を通じて「韓国語1」と「韓国語2」を半期ごとに履修するようになっていて、1.5時間の授業が週2回行われている。つまり、総学習時間は前期と後期の45時間を合わせると合計90時間となる。

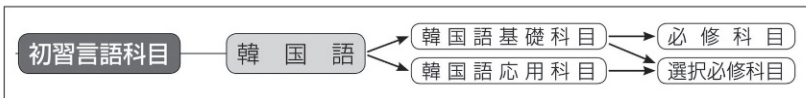


図1 韓国語教育カリキュラム<sup>8)</sup>

上の「図1」で示している本学における初習言語の教育課程を考えると、一連の教授－学習内容を通じて到達可能な言語能力は、各言語の「初級」から「中級」程度のレベルを超えない。言い換えると、現状のカリキュラムのままでは伸ばせる言語能力には限度があり、多くの場合、学生が選択した言語について、日常生活と一般的な話題に関してコミュニケーションが行える基礎能力を育てる程度で教育課程が終えられるようになっている。しかしこのような実情を踏まえた上でも初習言語教育の持つ意義や重要性は、決して過小評価できない。そして、その意義や重要性は、初習言語が共通して掲げている教育目的にも幾分反映されていることと考えられる。本学における初習言語共通の教育目的は次の5つにまとめられている。

1. 初習言語へ持続的な興味を持ち、自主的な学習態度を養うための土台を作る。

8) 2018年度言語文化パンフレットの1ページに掲載された内容の一部を抜粋した。

2. 日常生活と一般的な話題に関してコミュニケーションが行える基本能力を育てる。
3. ヨーロッパないし東アジア圏の多様な情報を理解し、それを活用できる能力を培う。
4. 相互文化理解を深めるため、初習言語学習を通じて日本との慣習や文化の違いを理解する。
5. 外国人に対して自分の意見や意思が相手に伝わるまで、積極的にコミュニケーションに取り組む姿勢を養う。

本学の在学生の大半は、高校までの教育を通じて第1外国語として英語を学んでいる。したがって、第2外国語として英語以外の言語に接するのは本学に入って初めてという者が殆どである。そのような学習者に、高校までの外国語学習とは違う形態の教育方法で外国語を学ばせることが可能になる。特に本学の韓国語教育の場合、教員の過半数は韓国語を母語とするいわゆるネイティブスピーカーである。この特徴を大いに活かすとコミュニケーション・アプローチによる言語技能の教授がより容易に行える。他にも、相互文化理解の視点に立って、学生は先生を通してまず韓国の文化に接することができ、自然に日本文化との比較もすることで、両方の言語話者がお互いの文化を語り合うことが可能になっていくと考えられる。

続いて、現行のカリキュラムの下で基礎韓国語の教育内容を理解するために、今年度の基礎科目「韓国語1」と「韓国語2」のシラバスに掲げられた学習到達目標を示すと以下のようである。

#### 「韓国語1」

1. 韓国語の文字（ハングル）を読んで書くことができる。
2. 韓国語の発音体系を理解し、音韻変化を正しく理解できる。
3. 文の基本構成単位と簡単な文型が理解できる。

4. 韓国語の挨拶表現をはじめ、基礎的な定型表現を用いて自己紹介ができる。
5. 韓国語で他人の名前や職業を尋ねる（答える）ことができる。
6. 韓国語で物の名前を尋ね、正しく理解することができる。
7. 韓国語で人や物の場所や位置を尋ねる（答える）ことができる。
8. 基本語彙約 340 語について読んで意味が理解できる。
9. ハングル能力検定試験（5 級）に合格できる。

「韓国語 2」

1. 日本語にはない韓国語の音をより正確に発音できる。
2. 特殊な音韻変化を正しく理解して発音できる。
3. 5～7 個の単語からなる文を読んで内容が理解できる。
4. 授業で扱ったテーマに関する会話文及びパラグラフを読んで内容を正しく理解することができる。
5. 授業で扱ったテーマに関する会話文を聞いて適切に内容を理解することができる。
6. 授業で扱ったテーマについて 2 つから 5 つ程度の文を使って適切に表現することができる。
7. 韓国語の言語特徴を理解し、日本語との類似点や相違点を正しく判断できる。
8. 韓国と日本の生活習慣や社会制度などの文化の違いについて理解を深めることができる。
9. 韓国語能力試験（TOPIK I）1 級、ハングル能力検定試験（4 級）の合格を目指せるようになる。

次章では、本学の初習言語の教育目的及び基礎科目としての「韓国語 1」と「韓国語 2」の学習到達目標を具現するためにどのような教材が開発されたかについて項目別に教材の構成内容について触れることにする。

### 3. 基礎科目「韓国語 1」「韓国語 2」の共通教材の構成内容

本稿の第 1 章でも簡単に触れたように本学の韓国語教育カリキュラムに適した基礎科目「韓国語 1」と「韓国語 2」の共通教材開発のために行われた先行基礎研究では、1 年次向け共通教材の学習内容は TOPIK I（1 級）の評価内容を基準にすることが妥当であると考えられた。そして、教育目標を実現するためには、コミュニケーション能力の育成を目指した言語知識（「文法」「語彙」「発音」と言語技能（「聞く」「話す」「読む」「書く」）が一体となった統合型教材が望ましいことが分かった。さらには、学習内容やテーマに関連付けられた相互文化理解のための文化知識のほか、意味中心の言語理解を目指したタスクの提供も欠かせない構成要素として考えられた。これらの構成要素を基にして、一連の制作過程を経て、本学 1 年次向けの基礎韓国語の教育時間内に教授可能で到達可能な学習内容をまとめた教材を開発することに至った。

以下では、本学の基礎科目「韓国語 1」と「韓国語 2」の共通教材として開発された韓国語初級教材<sup>9)</sup>について、内容構成における特徴を「準備編と語彙・表現」「本文会話と文型」「その他」に分けて詳述し、本章の最後に教材の全体の構成内容を表でまとめて示すことにする。

#### 3-1. 準備編と語彙・表現の構成

コミュニケーション能力の育成を目指した統合型教材の構築のために、まずは言語知識として学べき語彙（発音）と文法（表現形式）の項目を選定するようになった。初めて新しい言語を学ぶ学習者が対象になっているために、文字と発音から学ぶ「入門」の段階を経て基礎語彙や文法、表現の学習に進むことを勘案すると「韓国語 1」と「韓国語 2」に与えられた学習時間の殆どは初級レベルの言語知識を学ぶことに費やされることになる。特に新しい言語の文

9) 『いよいよ韓国語』朝日出版社（2018）。本報告書内の図 2～図 7 は、教材の一部内容を抜粋したものである。



字と発音の仕組みを中心に学ぶ「入門」の段階では、基本語彙と定型表現に加え、最も基礎的な文型の練習が加えられることになる。そしてこの「入門」の段階を過ぎてから初めて言語技能や文化知識を学ぶ時間が徐々に加わっていくことが望ましいように思われる。

したがって、開発された共通教材の構成では、はじめに韓国語の文字と発音に加えて挨拶及び日常でよく用いられる定型表現を学ぶ「準備編（ハングル）」が設けられている。韓国語学習の「入門」に当たる「準備編」では、韓国語の文字の名称である「ハングル」の構成・仕組みと発音の特徴を学び、文字を読む練習の段階で合計140個の基本語彙を学習するようになる。合わせて、26個の挨拶・日常表現を学ぶことで、文字の仕組みを理解するとともに、韓国語の表記上の特徴も理解することを目標にしている。

シラバス上で示される「入門」の学習時間は合計20時間となる。そのため「準備編」での語彙と定型表現に加えて、第1課から第10課までで構成されている「本編（いよいよ韓国語）」のうち、第1課は「入門」の学習時間に含めることが可能である。すると「準備編」に加えて第1課までの学習語彙は185個に及ぶ。また、第1課から定型表現を中心にした文法と表現の学習が始まる。文型<sup>10)</sup>についての詳述は、次節で行うこととする。

また「準備編」で用いられている語彙の構成においては、文字の構成・仕組みに合わせた語彙の提示と、日本語の音声体系との違いで特徴付けられるべき発音を理解するための語彙の提示に分けられている。その語彙構成の特徴は、韓国で出版されている入門から初級レベルに渡る教材に比べると、学習者の母語と目標言語の発音の違いを明確に比較提示することになっている。反対に、日本で出版されている多くの入門～初級レベルの教材においては文字を読む練習の段階で韓国語の発音の説明に多くの紙面と学習時間が当てられている上、

10) 今回開発された共通教材では「文型」というタイトルを与えて各課で学ぶべき文法事項と表現形式を提示している。なお、文型練習には常に文（センテンス）単位の練習問題を提示し、語彙と文法、表現形式が合わせられた形で言語を理解することを狙いとしている。

学習レベルを超える高度の語彙が例示として数多く現れることが短所として挙げられる。これから新しい言語を学んでいく入門の段階で行われる文字の学習では、目標言語の発音の正確さを強調するより、言語間の発音の違いに気付かせる程度の学習内容がより妥当であるように考えられる。そのため、本学の学習者向けに開発された共通教材においては、韓国語の文字の仕組みを理解することに焦点を当て、発音の特徴については最小限の紙面と学習時間を割り当てている。

本編からの語彙の構成は、各単元のトピックと文法や表現項目を基準に新出語彙が一定数を超えないことを前提に幾つかのテーマ別に語彙の分類を行った。その選定基準としては、TOPIK I（1級）の評価内容となる約800程度の基本語彙を参考にしている。本編の第1課から第10課までの単元ごとのタイトルと主要表現、テーマ別語彙の分類基準、そして単元別の新出語彙数は、「表1」のようにまとめられる。

共通教材は、本学の韓国語の基礎科目「韓国語1」と「韓国語2」の授業内容をカバーしていて、「準備編」から「本編」の第4課までが前期の授業内容（「韓国語1」）にあたり、残る第5課から第10課までが後期分の授業内容（「韓国語2」）としてあてられる。従って、年間を通じて身につける学習語彙数は計656個になるが、そのうち前期の「韓国語1」で学ぶ語彙数は343個で、後期の「韓国語2」では313個の新出語彙を学ぶことになる。語彙数だけを比較すると「韓国語1」と「韓国語2」で比較的均等に学習語彙数が配分されているようにも考えられる。しかし、これは新出語彙数だけを数えたものであって、実際単元ごとに登場する全体の語彙数は、教材の後半に進むにつれ一文の長さが長くなって文型も複雑になっていく。そして、単元が進むにつれ既習の語彙が繰り返し提示される確率も高くなっていくことが考えられる。以上の共通教材に用いられた656個の学習語彙の一覧と提示箇所の詳細は、本稿の「付録」を参照されたい。なお、テーマ別に分類された語彙の提示例は次の「図2」のようである。

表1 本編（いよいよ韓国語）の語彙の分類基準及び語彙数

単元別タイトル	主要表現	テーマ別語彙	語彙数
第1課 안녕하세요? こんにちは。	名前を尋ねる 国籍を尋ねる	国 言語 職業	45
第2課 이 사람이 누구예요? この人は誰ですか。	人数を尋ねる 年齢を尋ねる	家族 指示詞 数詞（固有語）	40
第3課 이게 뭐예요? これは何ですか。	お店で注文する	品物 果物 助数詞	50
第4課 지금 어디에 가요? 今どこに行きますか。	応答表現	場所 位置と方向 動詞①	68
第5課 취미가 뭐예요? 趣味は何ですか。	趣味を聞いて答える	趣味 時	61
第6課 운동화를 사고 싶어요. 運動靴を買いたいです。	お店で使う表現	品物 / 曜日 数詞（漢字語） 形容詞①	65
第7課 서울 날씨는 어때요? ソウルの天気はどうですか。	天気を尋ねる 味を尋ねる	季節 / 天気 形容詞② 食べ物 / 味	59
第8課 한국어 시험이 언제예요? 韓国語の試験はいつですか。	時刻を尋ねる 誕生日を尋ねる	時刻 日付 動詞表現①	60
第9課 지하철 3호선을 타세요. 地下鉄3号線に乗って下さい。	移動手段や時間に 関する表現	交通 動詞②	37
第10課 겨울 방학에 뭐 할 거예요? 冬休みに何をする予定ですか。	休暇の予定を尋ねる	動詞表現②	31



図2 語彙と表現提示の一例

### 3-2. 文型練習と本文会話の構成

韓国語教材の文型項目の提示方法は，教材ごとあるいは教材が作られた各教育機関の教育方針によって異なってくるが，大まかに分けると「表2」のようにまとめることが可能である。

表2 韓国語教育における文型の類型<sup>11)</sup>

項 目	例
語 尾	-(으)시-, -었-, -다, -(으)니 等
助 詞	-이/가, -은/는, -을/를, -(으)로, -에 等
表 現	-지 않다, -었더니, -거든요 等

11) 国立国語院 (2011 : 33) より引用。

韓国の国立国語院では2011年より国際的に通用可能な韓国語教育の標準モデルの開発のために、TOPIKの評価内容のほか、韓国で出版された各種の韓国語教材での使用頻度、教材別に提示された学習レベル等を基準にして「初級」「中級」「上級」「最上級」の文型項目を提示した。その基準の中で「初級」に該当する文型項目は計100個である<sup>12)</sup>

そこで、本学の基礎科目「韓国語1」と「韓国語2」の共通教材に用いられている文型項目は、TOPIK I（初級）の評価内容のほか、使用頻度、文法の難易度、学習者のレベル、活用可能性、教授と学習の容易さ等を総合的に考慮した上で選定している。例えば、本学で韓国語を学ぶ履修者の大半は初めて韓国語に触れる入門レベルの学習者である。そして、共通教材の教授時数は、基礎科目「韓国語1」と「韓国語2」の授業時間の総計<sup>13)</sup>で構成されることになる。韓国で出版されている教材の場合、主に大学傘下の言語教育院<sup>14)</sup>の学習者を対象にしている、TOPIK Iを到達目標にした教材の場合、約200時間の授業時間が前提となっている。したがって、教授の総時数において本学の場合とは大きな違いがあると言える。また、全世界に広がっている学習者を対象に韓国語教育の普及を行っている世宗学堂<sup>15)</sup> (King Sejong Institute) には初心者向けの教材として刊行された「世宗韓国語 (세종한국어)」がある。この教材のシリーズの中でTOPIK I（1級）を到達目標にした「世宗韓国語1」と「世宗韓国語2」は合わせて全26課で構成されていて、合計48個の文型項目を提示している。授業の時数は、单元ごとに4時間から6時間を目安にしているので、韓国国内の言語教育院で用いられている教材に比べると、より本学の教育環境にも適していると言える。しかし、「世宗韓国語 (세종한국어)」は、全世界の世宗学堂の学習者を対象にした学習内容で構成されているために、日本語

12) 「初級レベルにおける文型項目」の一覧は、本稿最後の「付録2」に収録した。

13) 1週間に2回（1回の授業は90分）の授業を前期と後期を合わせて計30週間行くと、合計90時間の学習時間となる。

14) 日本における「言語（外国語）教育センター」に相当する。

15) 世宗学堂は、韓国政府が公認する韓国語教育機関である。韓国語講座及び韓国語教育事業の実施とそのサポート、韓国文化講座等を行っている。

母語話者の学習者に特化された教材であるとは言い難い。

以上のように、教材の中にどの程度の文型項目を含めるかについては、各教育機関における教育環境（授業時数）、学習者の母語や学習レベル、文型項目の難易度などを総合的に考慮して決定しなければならない。最終的に本学の共通教材では、TOPIK I（1級）の評価内容を基準にして、第1課から第10課までの単元ごとに4つずつの文型項目を提示することになった。続く「表3」は共通教材に収録された文型項目の一覧である。

表3 共通教材に収録された文型項目一覧

単元	文 型 項 目
第1課	-입니다(です), -입니까(ですか), -이에요/예요(です(か)), -은/는(は), -이/가(が)
第2課	이/그/저/어느(この/その/あの/どの), -이/가 아니예요(ではありません(か)), -도(も), 数詞(固有語)
第3課	이게/그게/저게(これが/それが/あれが), 있어요(います(か), あります(か)), 없어요(いません(か), ありません(か)), -와/과(と), -하고(と), 助数詞(個, 冊, 杯)
第4課	-에(に), 位置と方向, -아요/어요①(ます(か)), -에서(で)
第5課	-을/를(を), -아요/어요②(ます(か)), -을/를 좋아하다(が好きだ), -습니다/ㅂ니다(ます), -습니까/ㅂ니까(ますか)
第6課	-을까요/ㄹ까요(でしょうか), -고 싶다(したい), 数詞(漢字語), 形容詞の丁寧形①
第7課	形容詞の丁寧形②, 안否定文(否定形①), 形容詞の名詞修飾, 무슨(何の, どんな)
第8課	-부터-까지(から, まで), -았어요/있어요(しました(か)), -고(て/で), -지 않다(否定形②)
第9課	-으로/로(で), -으세요/세요(してください), -아야/어야 해요(しなければなりません(か)), -으면/면 돼요(したらいいです(か))
第10課	-을/ㄹ 거예요(するつもりです(か)), -으러/러 가요(しに行きます(か)), -아/어 보세요(してみてください), -을/ㄹ 수 있어요(することができます(か))



がって自然に分かち書きのルールが理解できるようにした。もう1つの工夫は、文型説明のために提示されている例文の構成にある。統合型教材の場合、文法の説明が簡略に記述されることが多く、文型に関する足りない説明は必然的に例文を通して補うことになる。その際の例文の作成においては次の2点に注意を払っている。1つは、一文の長さや文型の複雑さを最大限考慮して、文型説明のための意味伝達にフォーカスを絞って例文を作ることである。もう1つは、文型説明に用いられる例文の中には可能な限り未習の語彙や表現を用いないことである。文型説明のために設けられた例文の中に、未習の単語や表現が使われていると学習者にとっては文型を理解する以前に新しい語彙と表現を学ばなければならなくなるため、余計に学習の負担が増えることが考えられる。しかし、ごく一部の例文では、新出語彙の提示順序での理由やより効率的な提示方法であると判断された場合に限り、文型の練習や例文の中に新出語彙や表現を取り入れることにした。そしてその際は、新出語彙・表現の日本語訳も一緒に示すようにして学習者の意味理解を補っている。

共通教材の単元ごとのページ構成では、文型練習に続き、本文会話が2ページにわたって掲載されている。会話の練習は各単元のトピックをテーマにしたAとBの2つのパターンで構成されている。会話練習に用いられる語彙と文型は、各単元の学習目標としてすでに提示され学習されたもので構成されるようになる。従って、会話練習においては、前項までに学習した語彙と文型の理解を基に、決まった会話文のパターンに沿って、語彙と表現を入れ替えながらパターンプラクティクスを繰り返すことに重きを置いている。語彙の入れ替え練習のほかに、AとBの会話文ごとに各単元で新たに学習する4つの文型項目が均等に振り分けられているので、当該単元で初めて学んだ文型も会話文のパターンプラクティクスを通して繰り返し練習されることになる。その他、学習時間の割り当てにおいても、各単元の会話練習には1回分の授業時間（90分）が当てられるようにしてシラバスの授業計画にも明示している。



대화 연습




**A** > 예

다 니 뭘 책이 어디에 있어요?  
 아주머니 도서관 앞에 있어요.  
 다 니 뭘 그럼 책은 어디에 있어요?  
 아주머니 책달라고 온방 자리에 있어요.  
 다 니 뭘 네, 알겠습니다. 감사합니다.

미용실	시장 안	약국	병원 옆
역	우체국 왼쪽	영화관	백화점 안
은행	미용실 뒤	호텔	공원 근처
화장실	교실 오른쪽	편의점	수영장과 대학교 사이

대화練習



**B** > 예

민 지 지금 어디에 가요?  
 준 직장에 가요. 민지 씨는 어디에 가요?  
 민 지 저는 도서관에 가요.  
도서관에서 문구해요.  
 준 아, 그래요? 또 만나요.

우체국	수영장	수영하다
영화관	공원	운동하다
병원	회사	일하다
미용실	백화점	쇼핑하다

図4 本文会話の一例

### 3-3. その他の構成内容


本文会話の練習の後は、各単元の文型と会話練習での会話のパターンを中心に2つのタスクが続くことになる。タスクとは、意味伝達中心のコミュニケーションをする際に伴うすべてのアクティビティーを意味する。したがってタスクにおいては意味理解を狙いとする諸アクティビティーが用いられるようになる。共通教材におけるタスクは、「タスク1」と「タスク2」に分かれていて、「タスク1（読む/書く）」では学習者が自らの力で文単位のテキストの読解を行い、その理解の程度に応じて作文をするアクティビティーが続けられる。一方の「タスク2（聞く）」では、リスニングが行われる。日本で出版されている韓国語教育教材では統語型教材を目指すにもかかわらず言語の4技能の1つであるリスニングの練習が抜けているものが少なくない。それに対して

今回開発された共通教材は、「語彙・発音」「文型」と言った言語知識の学習に加えて「会話」「読む」「書く」「聞く」の4つの言語技能を総合的に具現した統合型教材であると言える。

**과제 1 ① 읽기 / 쓰기**

**1 그림을 보고 <보기>와 같이 문장을 완성하세요.** <보기>의ように文を完成して下さい。

(보기)  
수준 씨는 아침에 도서관에서 책을 읽어요.  
점심에는 학교 식당에서 밥을 먹어요.  
그리고 저녁에는 기차역에서 아르바이트를 해요. 아침 점심 저녁




(1) 세인 씨는 오전에 한국어를 \_\_\_\_\_  
오후에는 영어를 \_\_\_\_\_

(2) 나나네 씨는 오후 밥에 영화관에서 \_\_\_\_\_  
내일 아침에는 학교에서 \_\_\_\_\_

(3) 세인 씨는 보레 아잠에 한국에 \_\_\_\_\_  
주말에는 집에서 \_\_\_\_\_

**2 다음 내용을 읽고 물음에 답하세요.** 次の内容を読んで問いに答えなさい。

민지 사도 비 내릴 요전에 뭐 해요?  
사도 학교 근처 공원에 가요.  
민지 공원에서 산책해요?  
사도 아니요, 저는 사진 찍기를 좋아해요.  
그 공원에선 꽃과 나무가 많이 있어요.  
민지 그예요? 제 책에도 사진 찍어요.  
내일 요점에 같이 사진을 찍어요.  
\* 같이 찍으면 > 사진 찍기 좋아해요



(1) 위 글의 내용과 있는 것을 고르세요.上の文章と内容が一致するものを選びなさい。

① 사도 씨는 공원에서 산책해요.      ② 민지 씨는 내일 오후에 공원에 가요.  
③ 민지 씨는 사진 찍기를 좋아해요.      ④ 공원에는 꽃과 나무가 많아요.

(2) 사도 씨의 취미가 뭐예요?  
\_\_\_\_\_

**タスク 1 ① 読む / 書く**

**3 다음을 읽고 물음에 답하세요.** 次の文章を読んで問いに答えなさい。

민지 씨는 운동을 아주 좋아합니다.  
아침에는 수영장에서 수영을 합니다.  
점심에는 학교에서 배낭통을 배웁니다.  
대근도 아주 좋습니다.  
저녁에는 집에서 매일 요리를 합니다.  
주말에는 가끔 놀산을 합니다.  
\* 하루 2시간

저는 중입니다.  
제 취미는 음악 듣기입니다.  
저는 한국 음악을 아주 좋아합니다.  
내일 친구들과 같이 한국에 갑니다.  
보레 서울에서 K-POP 콘서트를 봅니다.  
그리고 저에게는 한국 요리를 먹습니다.

(1) 위 글의 내용과 있는 것을 고르세요.上の2つの文章と内容が一致するものを選びなさい。

① 민지 씨는 자주 등산을 합니다.  
② 윤 씨는 한국 음악을 좋아합니다.  
③ 민지 씨는 매일 요리를 합니다.  
④ 윤 씨는 민지 씨와 같이 한국에 갑니다.

(2) 윤 씨는 언제 한국에 가요?  
① 내일      ② 매일      ③ 보레      ④ 주말

(3) 민지 씨가 하는 운동을 모두 쓰세요. ミンジさんが行っている運動をすべて書きなさい。  
\_\_\_\_\_

**4 여러분의 취미는 무엇입니까? 자신의 취미를 써 보세요.** 自分の趣味を書きなさい。


図5 タスク1「読む/書く」の一例

本学で掲げている初習言語の教育目的の1つに「初習言語学習を通じて日本との慣習や文化の違いを理解し、相互文化理解を深める」というのがある。入門から始まる基礎科目の教育時数では「語彙・発音」「文型」を中心とする言語知識の教授が大半を占めることになる。従って、限られた授業時間の中で文化理解のための活動の時間を設けることは、現行のカリキュラムの中では限界がある。そのような現状を踏まえて、教材の紙面を通して、入門から初級レベルの学習者が興味を持ち、理解すべき慣習や文化の違い及び言語使用上の習慣

の違いを紹介することにした。それが各単元の最後に載せられている「いよかん」と「Tip for You」の2つのコラムである。「いよかん」は、学習者が韓国文化について興味を持つ素材を中心にガイダンス程度の文化情報を与えることを目的とする。一方の「Tip for You」では、各単元のテーマにちなんだ言葉の意味の違いや、韓国文化特有の言語使用習慣を中心に内容をまとめている。しかし、いずれのコラムも、学習者が自分の興味のある範囲内でいつでも参考にすることができるというメリットのほか、教材の構成内容ではあるがあくまでも学習の動機付けのためのものであって評価の対象としないという点が特徴として挙げられる。

**과제 2 듣기** タスク2 聞く

**1 다음을 듣고 내용과 맞으면 ○, 틀리면 × 하세요.** 54

命題を聞いて内容が一致すれば ○ を、違っていれば × を書きなさい。

(1) 커피숍이 식당 안에 있어요. ( )


(2) 고양이가 나무 뒤에 있어요. ( )

(3) 책상 위에 지우개가 있어요. ( )

(4) 제인 씨가 지금 시장에 가요. ( )

**2 다음의 대화를 듣고 물음에 답하세요.** 55


次の命題を聞いて問に答えなさい。



(1) 두 사람은 지금 뭐 해요?  
 ① 요리해요    ② 전화를요    ③ 공부해요    ④ 운동해요

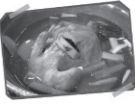
(2) 대화의 내용과 일치하지 않는 것을 고르세요. 命題の内容と一致しないものを選びなさい。

① 제인 씨는 지금 먼저 버리고 요리해요.  
 ② 민지 씨가 마크 씨 집에 있어요.  
 ③ 마크 씨는 지금 집에 있어요.  
 ④ 민지 씨 집을 사정하고 우체국 사이에 있어요.



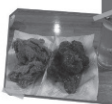
## 한국의 음식 (1) 韓国の食べ物(1)

旅行先での楽しみと書けば、だんだん地方的おいしい料理ではないでしょうか。ここでは北海道からの推薦メニューを紹介します。



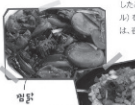
**"김치찌개" (Kimchi Jjigae)**

どこか離れた所から遠の地まで届けてきてきませんが、韓国では最も人気の料理に行くくと韓国のめんどりをと熟練した手伝があります。また、韓国は、1年間に約9億回（人あたり約10回）の韓国を消費するほど、韓国を使った料理は広く一般的に楽しんでいます。ここで特別にご紹介したいのは、一羽丸ごと調理する鶏강판마리という料理です。

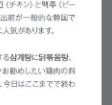


コラーゲンがたっぷり入ってお肌の美容にも良いとされている鶏肉に、ジャガイモとネギなどの野菜や韓国(韓)を一緒に入れて煮立てます。一般的に甘辛い味に慣れて食べますが、そのおいしい点を活かして、思わず涙を飲んでしまいます1時を食べ終わると、余ったスープにうどんなどの麺類を入れて食べるのもオススメです。

鳥インフルエンザによって鶏肉の売り上げが減少した中では、ある韓国のドラマの影響により、フライドチキンとドールの売れ行きが上昇したという話は有名ですが、韓国では、炸鸡(チキン)と啤酒(ビール)を合わせて、週末対戦と噂されています。出陣が一般的な韓国では、夜更の定番メニューとして、炸鸡は、特に人気があります。



**명란**  
**장칼국**



**"닭, 미안함!"**

他にも、鶏肉を代表する料理に 닭볶음탕, 닭갈비, 닭국, 닭국밥等々が挙げられます。鶏肉の利用率が高くて人気があります。今日はここまでで終わりにします。

図6 タスク2「聞く」と「いよかん」の一例

本編（いよいよ韓国語）の第1課から第10課までの全体の構成内容については、次の「表4」を参照されたい。計12ページで構成されている各単元の最後の2ページにはそれぞれの単元の「まとめのチェック」と語彙・表現のまとめ及び「Tip for You」のコーナーがある。「まとめのチェック」は、学習者が各単元の学習内容をどの程度理解できているのかをセルフチェックを通して確かめるようにしている。「まとめのチェック」の問題は、TOPIKⅠの文型理解の問題形式を参考にしたもののほか、語彙知識と主要表現の読み書き能力を測るもので構成されている。そして「まとめのチェック」を通して学習者が自ら解けない問題については未修または学習が不十分であるものと考え、自主的に復習などを行って理解を補っていくことを狙いとしている。

[illegible]

図7 「まとめのチェック」と「語彙と表現のまとめ」の一例

表4 共通教材の全体内容構成<sup>16)</sup>

## 준비편(한글)

内 容
母音、子音、パッチム、ハングルの読み書き

## 본문편(1-10 과)

各課のタイトル	語 彙	表 現	文型練習
第1課 안녕하세요? こんにちは。	国 言語 職業	名前を尋ねる 国籍を尋ねる	-입니다(〜です), -입니까(〜ですが) -이에요/예요(〜ですか) -은/는(〜は) -이/가(〜が)
第2課 이 사람이 누구예요? この人は誰ですか。	家族 指示詞 数詞(固有語)	人数を尋ねる 年齢を尋ねる	이/그/저/어느(この/その/あの/どの) -이/가 아니예요(〜ではありません(か)) -도(〜も) 数詞(固有語)
第3課 이게 뭐예요? これは何ですか。	品物 果物 助数詞	お店で注文する	이게/그게/저게(これが/それが/あれが) 있어요(〜います(か), あります(か)) 없어요(〜いません(か), ありません(か)) -와/과(〜と), -하고(〜と), 助数詞(個, 冊, 杯)
第4課 지금 어디에 가요? 今どこに行きますか。	場所 位置と方向 動詞①	応答表現	-에(〜に) 位置と方向 -아요/어요①(〜ます(か)) -에서(〜で)
第5課 취미가 뭐예요? 趣味は何ですか。	趣味 語	趣味を聞いて答える	-을/를(〜を), -아요/어요②(〜ます(か)) -을/를 좋아하다(〜が好きだ) -습니다/됩니다(〜ます) -습니까/됩니까(〜ますか)
第6課 운동화를 사고 싶어요. 運動靴を買いたいです。	品物/曜日 数詞(漢字語) 形容詞①	お店で使う表現	-을까요/려까요(〜しましょうか) -고 싶다(〜したい) 数詞(漢字語) 形容詞の丁寧形①
第7課 서울 날씨는 어때요? ソウルの天気はどうですか。	季節/天気 形容詞② 食べ物/味	天気を尋ねる 味を尋ねる	形容詞の丁寧形② 안 否定文(否定形①) 形容詞の名詞修飾 무슨(何の, どんな)
第8課 한국어 시험이 언제예요? 韓国語の試験はいつですか。	時刻 日付 動詞表現①	時刻を尋ねる 誕生日を尋ねる	-부터 -까지(〜から〜まで) -았어요/었어요(〜しました(か)) -고(〜て/で) -지 않다(否定形②)
第9課 지하철 3호선을 타세요. 地下鉄3号線に乗ってください。	交通 動詞②	移動手段や時間に関する表現	-으로/로(〜で) -으세요/세요(〜してください) -아야/어야 해요(〜しなければなりません(か)) -으면/면 돼요(〜したらいいですか)
第10課 겨울 방학에 뭐 할 거예요? 冬休みに何を予定ですか	動詞表現②	休暇の予定を尋ねる	-을/르 거예요(〜するつもりです(か)) -으려/려 가요(〜に行きます(か)) -아/어 보세요(〜してみてください) -을/르 수 있어요(〜することができます(か))

16) 『いよいよ韓国語』の「本教材の構成内容 (p. ii ~ iii)」より抜粋。

## ハングル

内 容
挨拶・日常表現、語彙と表現のまとめ、教室用語

## いよいよ韓国語

会話練習	タスク 1(読む/書く)	タスク 2(聞く)	文化コーナー
自己紹介 名前及び出身地を尋ねる	職名や国名を書く 自己紹介文を読んで書く	挨拶及び日常表現、名前、職業、 出身地を尋ねて答える会話を聞く	韓国の基本情報
職業を尋ねる	家族を紹介する文章を読んで書く	他人について聞いて答える会話を聞く	韓国の交通
物について聞いて答える 買い物	数を聞いて答える 物の位置関係に関する文章を読んで 書く	物について聞いて答える 数量を聞いて答える 買い物をする	ソウルで宿探し
場所や位置を説明する どこで何をするかについて話す	位置を表す文章を読む どこで何をするかについて読んで書く	位置を尋ねる会話を聞く 電話で場所を知らせる会話を聞く	韓国の食べ物①
趣味を聞いて答える 日程について語り合う	時間と行動、趣味について語る 文章を読んで書く	趣味に関する表現を聞く 日常生活に関する表現を聞く	韓国の食べ物②
提案する 品物の値段を尋ねる 意内について聞いて答える	日課に関する会話文を読む 場所について説明した文を読む 自分のスケジュールを書く	人に提案する短い会話を聞く 値段を尋ねて物を購入する会話を聞く	韓国での買い物
天気について聞いて答える 趣向について尋ね合う	状態に関する短文を完成する 健康状態に関する会話文を読む 季節に関する文章を読んで書く	味に関する短い会話を聞く 天気に関する会話を聞く	韓国の食べ物③
日時を尋ねる 過去の出来事について尋ねる	過去の出来事について書く 留学案内文及び感想文を読む 1日の日課について書く	一週間の出来事を聞く 過去の出来事に関して聞いて 答える	ソウルの主な 観光地
移動手段及び時間を尋ねる 地下鉄の乗り方を案内する	移動手段に関する会話文を書く 地味券を買う会話文を読む 旅行感想文を読んで書く	移動手段及び時間を聞く 目的地までの行き方を尋ねる 会話を聞く	釜山と済州島
連休や休暇の日程を語る 韓国の文化体験活動を進める	可能の可否を尋ねる会話文を書く 今日の日程に関する会話文を読む ソウルでの旅行計画について読んで書く	勧誘の短い会話を聞く 週末の約束に関する会話を聞く	韓国の伝統体験

全10課の各単元の終わりには、単元ごとの学習語彙と表現をまとめて提示し、学習者が語彙と表現の意味確認を素早く行えるようにしている。その他、第10課までの本編に続く「付録」では、文型練習及び「タスク1, 2」の解答をまとめている。さらに、「本文会話」の日本語対訳とリスニング（タスク2「聞く」）の原稿スクリプトを収録していつでも学習者が自ら内容（意味）を確認できるようにしている。そして共通教材の「付録」の最後になる「語彙リスト」には、本学で学ぶ学習者の母語が多様化している現状を踏まえて、日本語のみならず、英語と中国語の対訳も一緒に載せている。

#### 4. 韓国語能力試験初級（TOPIK I）の評価基準と共通教材の比較

本学の初習韓国語の基礎科目「韓国語1」と「韓国語2」の教育目標に TOPIK I（1級）の合格レベルが掲げられている。従って、基礎科目「韓国語1」と「韓国語2」の学習のために開発された共通教材は、TOPIK I（1級）の評価内容を教授－学習内容の選定基準として設けている。この傾向はすでに韓国国内でも見られており、今では初級レベルの韓国語の教材では TOPIK I の評価基準が教授－学習内容の選定における一定の基準としての役割を担っているとも言えるようになった。

本章では、初級レベルの TOPIK I（1級・2級）の評価基準と、基礎科目の年間の到達目標を TOPIK I（1級）のレベルに合わせて構成された共通教材の中身を比較する。そのことで、基礎科目「韓国語1」「韓国語2」の共通教材で満たしている学習項目と、以降の学習内容としてみなすべき項目を明示できればと思う。

韓国語能力の初級レベルに該当する TOPIK I は、1級と2級の2つに分けられている。TOPIK<sup>17)</sup>の公式サイトで公開されている習熟度別の評価基準によると、TOPIK I の1級は自己紹介、買い物、飲食店での注文など生活に必要な基礎的な韓国語を駆使でき、身近な話題の内容を理解・表現できるという。ま

17) 韓国語能力試験（日本サイト）<https://www.kref.or.jp/examination/topik> より抜粋。

た、800 語程度の基礎的な語彙と基本文法を理解でき、簡単な文章を作れるレベルであるとしている。これに対して TOPIK I の 2 級は、1,500~2,000 語程度の語彙を用いた文章を理解でき、使用できるレベルであるとしている。そしてこのレベルでは電話やお願い程度の日常生活に必要な韓国語や、郵便局、銀行などの公共機関での会話がこなせるものと考えられる。初級レベルにおける文型は、言語機能に関わる基本文法と語彙のタイプに大きく関わっていることが特徴であると言える。言い換えると、初級の段階においては、複雑な文型構造の理解よりは、言語の機能を果たすための十分な語彙知識が備わっていることにより重点が置かれるということになる。

表 5 初級（1 級・2 級）の評価内容トピック（素材）

TOPIK I	
1 級	<u>紹介</u> , <u>日常生活</u> , <u>学校生活</u> , <u>場所</u> , <u>買い物</u> , <u>食べ物</u> , <u>季節と天気</u> , <u>交通手段</u> , <u>品物</u> , <u>位置</u> , <u>時間</u> , <u>趣味</u> , <u>交通</u> , <u>運動</u> , <u>家族</u> , <u>約束</u>
2 級	<u>週末</u> , <u>位置</u> , <u>天気</u> , <u>約束</u> , <u>運動</u> , <u>学校生活</u> , <u>事務室</u> , <u>家</u> , <u>電話</u> , <u>品物</u> , <u>場所</u> , <u>方向</u> , <u>時間</u> , <u>位置</u> , <u>食べ物</u> , <u>交通</u> , <u>身体</u> , <u>家族</u> , <u>職業</u> , <u>買い物</u> , <u>手紙</u> , <u>服</u> , <u>郵便局</u> , <u>銀行</u> , <u>病院</u> , <u>旅行</u> , <u>計画</u> , <u>感情</u> , <u>挨拶</u> , <u>理由</u> , <u>計算</u> , <u>映画</u> , <u>約束</u> , <u>日課</u>

上の「表 5」は TOPIK I で取り上げられるトピックと共通教材で扱われているトピックを比較したものである。表中の下線部は重なるトピックを示していて、下線の引かれていないものは共通教材で取り上げられていないトピックを意味する。1 級と 2 級では重複されるトピックが多く、共通教材は少なくとも 1 級の評価内容にあたるトピックの大半をある程度カバーしていると言える。

提示文の内容によって扱われるトピックが異なり、語彙や文型も異なってくることが考えられる。そのため、TOPIK I でどのような文章のタイプが評価の基準になっているのかを知ることが大変重要である。一方で、まだ初級のレベルという習熟度から勘案すると、ここでの「文章」の意味は、一文からパラグ



ラフまで広範囲のものが想定できる。このような理解のもとで共通教材との比較を行った結果は、次の「表6」のようである。表中の下線は、共通教材の方でも取り上げられている文章のタイプを示す。

表6 初級（1級・2級）の評価内容－文章のタイプ

等 級		評 価 内 容
TOPIK I	1 級	・ 短めの標識，簡単な会話文， <u>5つ以内のセンテンスで構成された生活文</u> ・ 標識（語），広告， <u>案内文</u> ，メモ，紹介文， <u>生活文</u> ，手紙文，日記，領収書，名刺
	2 級	・ 短めの文章，簡単な会話文，7つ前後のセンテンスで構成された実用文 ・ 標識語，会話文，叙述文，説明文，実用文，領収書，メモ，手紙文，日記，書式，案内文，広告文

次の「表7」は、語彙と文型に関わる評価内容である。TOPIK I の各評価内容に対して共通教材で扱われているものには○を、扱われていないものには×を表示した。また、一部でのみ扱われている場合は△で示している。比較の結果、共通教材の内容が一部の語彙と文型項目を除いておおよそ1級のレベルをカバーしていると言える。また、TOPIK I の2級として分類されている語彙と文型項目の一部についても共通教材と内容が重なっていることが確認できる。

表7 初級（1級・2級）の評価内容一意味（語彙）・文法

[illegible]

## 5. ま と め

前章までは、本学で初習言語として基礎科目（「韓国語1」と「韓国語2」）を学ぶ学生向けに開発された共通教材『いよいよ韓国語』の構成内容と学習の狙いを中心にまとめた。以下では、今後の課題として、共通教材の開発段階で新たに提起された問題点と限界点を3つに分けて述べておきたい。

まず、学習語彙の性格によって語彙学習の目標と内容が異なってくるために、その区分を明確にしておく必要があると考えられる。教材に提示された語彙の性格が、初級レベルの学習者にとって算出できるようにすべきであるか、聞いて理解できる程度のもので良いのかによって、教授－学習に割り当てられる時間の配分が大いに異なってくることになる。学習語彙が「表現（算出）語彙」であるか「理解（受容）語彙」であるかについての判断は、これまでの経験を踏まえると、教授する側の判断に任されることが多く、教育歴の多少に関係なく、教師の主観的な判断で決められることが少なくないように考えられる。その結果、共通教材が用いられているにも関わらず実際学生が身に付ける学習語彙の数や内容には必然的に違いが生じるようになる。この問題を解消するためにも、今後語彙学習の目標が語彙の性格で明示できれば、より効率的な語彙学習方法が見いだせることになると考えられる。

次に、今回開発された共通教材は、基礎科目「韓国語1・2」の学習到達目標として定めている TOPIK I（1級）の文法項目を全てカバーできないという限界がある。授業時数の制限などによってどうしても網羅できなかった文型内容については、学習者が自主的に学んで補っていくように指導していかなければならない。またそのための教員間の意思疎通や協力体制も必要不可欠である。一部の専攻によっては、基礎科目「韓国語1・2」に続いて「韓国語3・4」を必須として学ぶことになっているため、学部ごとのカリキュラムと個別学生のニーズに合わせて対応しているのが現状である。しかし、1年や2年の学習に留まる言語教育を目指すのではなく、生涯を通して身に付けていくべき

教養としての言語教育を初習言語学習の目的として掲げている以上、基礎をよりしっかりと学ばせることと、学生が自律的で継続的に言語学習を続けられるような学内での教育環境づくりとサポート体制の整備は重要な課題となっていると言える。さらには、1年や2年で終わる言語教育ではなく、一生を通して身に付けていくべき教育の基礎を担っているという教育機関としての意識の強化も、今後続けて強調していくべき点であると考えられる。

最後に、1年次の「韓国語1」と「韓国語2」に続いて、2年次で学ぶ基礎科目「韓国語3」と「韓国語4」に関しても、1年次からの一貫した教授内容で学習できるよう、2年次向け基礎科目の統合型共通教材の開発が急がれる。さらに、2年次で応用科目の履修に進む学生のためにも、1年次で学んだ内容に連携された技能別言語学習が継続できるよう、今後本学の学生のニーズや学習レベルに合った技能別の韓国語学習教材が開発されていかなければならない。

### 参 考 資 料

- 金菊熙 (2014)「初級言語教育における相互文化理解の授業のあり方を考える－松山大学の初習言語「ハングル」における授業例を中心に－」『松山大学論集』26-1, 131-171.
- 金昌九・金菊熙 (2014)「초급 한국어 교재에 제시된 어휘의 목록과 계량적 분석 (初級韓国語教材に提示された語彙一覧と計量的分析)」『言語文化研究』33-2, 165-188.
- 金菊熙・李順蓮・安蕙蓮・李旼映 (2018)『いよいよ韓国語』朝日出版社
- 국립국어원 (2011)「국제 통용 한국어 교육 표준 모형 개발 2 단계」(国立国語院 (2011)「国際通用韓国語教育標準モデル開発2段階」)
- 국립국어원 (2017)「국제 통용 한국어 표준 교육과정 적용 연구」(国立国語院 (2017)「国際通用韓国語標準教育課程の適用研究」)
- 서울대학교 국어교육연구소 편저 (2014)『한국어교육학 사전』하우 (ソウル大学校国語教育研究所 (2014)『韓国語教育学事典』ハウ)

### その他の参考サイト

- 韓国語能力試験公式 HP (日本サイト) <https://www.kref.or.jp/examination/topik>
- 国立国語院公式 HP (韓国サイト) <https://korean.go.kr/>

※本報告書は、平成29年度に交付を受けた松山大学教育研究助成による成果の一部である。李順蓮は本稿の「3-2」の文型の構成を、金菊熙はその他のところを執筆担当した。

※本報告書は、松山大学論集第30巻第6号を一部訂正し再投稿したものである。

## 「付録 1」 基礎共通教材に収録された学習語彙一覧

\*表左側の数字は、出現した単元（課）を示す（「0」は「準備編（ハングル）」）。

課	韓国語	日本語対訳	課	韓国語	日本語対訳
1	-가	〜が	8	공연	公演
0	가게	店	4	공원	公園
7	가깝다	近い	3	공책	ノート
5	가끔	時々、たまに	9	공항버스	空港バス
4	가다	行く	3	-과	〜と
5	가르치다	教える	3	과일	果物
0	가방	鞆	0	과자	菓子
7	가볍다	軽い	8	관광	観光
1	가수	歌手	0	교과서	教科書
0	가슴	胸	3	교실	教室
0	가요	歌謡	9	교통	交通
3	가위	ハサミ	6	구	九 (9)
7	가을	秋	10	구경하다	見物する、観覧する、見る
7	가장	最も、いちばん、何より (も)	0	구두	靴
2	가족	家族	8	구월	9月
7	갈비	カルビ	8	국제 센터	国際センター
9	갈아타다	乗り換える	3	권	冊
3	감	柿	0	귀	耳
7	감기약	風邪薬	3	굴	みかん
0	값	値段	2	그	その
0	강	川、江	2	그것(그저)	それ
4	같이	一緒に	6	그래서	それで、だから
0	개	犬	7	그런데	ところが、ところで、しかし
3	개	個	3	그럼	それなら、(それ)では
4	거기	そこ	5	그리고	そして
0	거리	通り/距離	5	그리기	描くこと
9	걸다	歩く	5	그림	絵
2	것	もの、こと	5	그림을 그리다	絵を描く
5	게임	ゲーム	4	그쪽	そちら、そっち、そちら側
7	겨울	冬	4	극장	劇場/映画館
8	결혼	結婚	4	근처	近所、近く
8	결혼하다(=결혼을 하다)	結婚する	6	금요일	金曜日
8	경기	競技、試合	8	기간	期間
1	경찰관	警察官	6	기분	気分、気持ち
9	게시다	おられる、いらっしゃる	4	기숙사	寄宿舎、寮
7	계절	季節	7	기온	気温
0	고기	肉	1	기자	記者
2	고등학생	高校生	0	기타	ギター
9	고속버스	高速バス	10	기타를 치다	ギターを弾く
0	고양이	猫	0	길	道
6	고프다	(お腹が) 空く	6	길다	長い
10	고향	故郷	7	김밥	キンパブ
0	공	ボール	7	김치	キムチ
1	공무원	公務員	10	김치를 만들다	キムチを作る (漬ける)
4	공부하다	勉強する	7	김치찌개	キムチチゲ

課	韓国語	日本語対訳
8	-까지	～まで
0	꽃	花
0	꿈	夢
0	끝	終わり
0	나	私
0	나라	国
0	나무	木
6	나쁘다	悪い
7	날씨	天気、天候
2	남동생	弟、弟さん
0	남자	男子、男
0	낮	昼
7	낮다	低い
6	낮잠을 자다	昼寝をする
8	내년	来年
9	내리다	降りる
5	내일	明日
7	냉면	冷麺
3	냉장고	冷蔵庫
0	너	お前、君
0	너무	(度を越して) あまり、とても
6	넥타이	ネクタイ
2	넷	4つ、4個
8	년	年
6	노래를 부른다	歌を歌う
6	노래방	カラオケ店
0	노트	ノート
10	농구	バスケットボール
7	높다	(高さが) 高い
1	누구	誰
2	누나	姉、お姉さん
0	눈	目
7	눈이 내리다/오다	雪が降る
0	뉴스	ニュース
1	-는	～は
10	다니다	通う、行き来する
0	다리	橋/脚
2	다섯	5つ、5個
9	다시	また、もう一度、再び
8	다음	次、今度
0	다이어트	ダイエット
9	닫다	閉める、閉じる
0	달	月
7	달다	甘い
0	닭	鶏
0	담배	タバコ

課	韓国語	日本語対訳
0	당근	ニンジン (人參)
4	대학교	大学
1	대학생	大学生
7	덥다	暑い
0	데이트	デート
2	-도	～も
0	도로	道路
4	도서관	図書館
0	도시	都市
9	도착하다	到着する、着く
5	독서	読書
1	독일	ドイツ
1	독일어	ドイツ語
0	돈	お金
10	돈을 찾다	お金を下ろす (引き出す)
0	동물	動物
2	동생	弟 / 妹
10	동아리 활동	サークル活動、部活
0	돼지	豚
7	뒀장끼개	テンジャンチゲ
0	두부	豆腐
2	둘(두)	2つ、2個
4	뒤	後ろ、後
0	드라마	ドラマ
9	드시다	召し上がる
5	듣기	聞くこと、聞き取り
5	듣다	聞く
5	등산	登山
7	따뜻하다	暖かい
0	딸	娘
3	딸기	いちご
0	떡	餅
7	떡볶	トックク
7	떡볶이	トッポッキ
4	또	又
0	라디오	ラジオ
0	라면	ラーメン
1	러시아	ロシア
9	-로	～で、～に
5	-를	～を
5	마시다	飲む
0	마음	心
6	만	万 (10000)
4	만나다	会う
10	만들다	作る
5	만화책	漫画、漫画本

課	韓国語	日本語対訳	課	韓国語	日本語対訳
6	많다	多い	0	바지	ズボン
5	많이	たくさん	10	박물관	博物館
0	말	馬 / 言葉	4	밖	外
7	맑다	(天氣が) 晴れている	6	반바지	半ズボン
7	맛	味	6	반지	指輪
7	맛없다	まずい、おいしくない	8	받다	受ける、受け取る、頂く、もらう
7	맛있다	うまい、おいしい	0	발	足
5	매일	毎日	5	밤	夜
9	매진	売り切れ	0	밥	ご飯
3	맥주	ビール	0	방	部屋
7	맵다	辛い	10	방학	学校の長期休暇
0	머리	頭	0	배	船 / 腹
5	먹다	食べる	3	배	梨
9	먼저	先、先に、まず	0	배우	俳優、役者
7	멀다	遠い	5	배우다	習う
0	메뉴	メニュー	6	백	百 (100)
0	메모	メモ	4	백화점	百貨店
0	메시지	メッセージ	9	버스	バス
8	며칠	何日、幾日	0	병	瓶
2	명	名	4	병원	病院
2	몇	何、いくつ	10	보내다	送る、差し送る、見送る
2	모두	皆、すべて、全部	5	보다	見る
5	모레	明後日	3	복숭아	桃
0	모자	帽子	3	볼펜	ボールペン
0	목	首	7	봄	春
6	목요일	木曜日	0	부모	父母、両親
8	목욕하다(=목욕을 하다)	風呂に入る	10	부모님	ご両親、親御
0	몸	体	0	부부	夫婦
7	무겁다	重い	8	-부터	〜から
0	무릎	膝	2	분	方
7	무슨	何、何の、どの、どういう	8	분	分
1	무엇(뭐)	何	0	불	火
0	문	門、戸、ドア	6	불고기	ブルゴギ
8	문의처	問合せ先	7	비가 내리다/오다	雨が降る
8	문화	文化	0	비누	石鹸
5	문다	尋ねる	7	비싸다	(値段が) 高い
3	물	水	9	비행기	飛行機
3	물건	品物	6	빨래	洗濯
1	뭐(무엇)	何	7	빨래하다	洗濯する
1	미국	米国	9	빨리	早く、速やかに、すばやく
1	미용사	美容師	0	빵	パン
4	미용실	美容室	6	사	四 (4)
3	바나나	バナナ	7	사계절	四季
0	바다	海	3	사과	りんご
7	바람이 불다	風が吹く	4	사다	買う
6	바쁘다	忙しい	0	사람	人



課	韓国語	日本語対訳
0	사랑	愛
8	사월	4月
4	사이	間
6	사이즈	サイズ
3	사전	辞書
10	사전을 찾다	辞書を引く
5	사진	写真
5	사진을 찍다	写真を撮る
0	사탕	あめ玉、キャンディー
0	산	山
5	산책	散歩、散策
4	산책하다	散歩する、散歩する
2	살	歳、才
4	살다	住む、暮らす
6	삼	三 (3)
7	삼계탕	サムゲタン (参鶏湯)
8	삼월	3月
0	새	鳥
8	생일	誕生日
8	생활	生活
4	서점	書店、本屋
8	선물	贈り物、プレゼント
2	선배	先輩
1	선생님	先生
0	섬	島
8	세수하다(=세수를 하다)	洗面する、顔を洗う
3	세탁기	洗濯機
2	셋(세)	3つ、3個
0	소	牛
0	소리	音
1	소방관	消防士
8	소설책	小説本
3	소파	ソファ
0	손	手
3	손님	客
5	쇼핑	買い物、ショッピング
4	쇼핑하다	買い物を、ショッピングをする
0	수도	首都
3	수박	スイカ
10	수업	授業
5	수영	水泳
4	수영장	プール
4	수영하다	泳ぐ
6	수요일	水曜日
3	수첩	手帳
5	숙제	宿題

課	韓国語	日本語対訳
10	술	酒
5	쉬다	休む
7	쉽다	易しい、むずかしくない
2	스물(스무)	二十、20個
10	스키를 타다	スキーをする
1	스페인	スペイン
0	스포츠	スポーツ
8	시	時
6	시간	時間
0	시계	時計
7	시원하다	涼しい
8	시월	10月
9	시작하다	始める、起こす、開く
4	시장	市場
8	시험을 보다	試験を受ける
4	식당	食堂
6	신다	(履物を)履く
0	신문	新聞
6	신발	履物、靴
7	싫어하다	嫌いだ
6	십	十 (10)
8	십이월	12月
8	십일월	11月
7	싸다	(値段が)安い
0	쌀	米
5	쓰다	書く
7	쓰다	苦い
0	쓰레기	ゴミ
1	씨	〜さん
8	씻다	洗う、流す
0	아기	赤ちゃん
0	아들	息子
4	아래	下
5	아르바이트	アルバイト
2	아버지	父、お父さん
0	아빠	父、パパ
0	아이	子供
0	아이스크림	アイスクリーム
0	아저씨	おじさん
5	아주	とても
4	아주머니	おばさん
5	아침	朝 / 朝ごはん
9	아침밥	朝ごはん、朝食
0	아파트	アパート、マンション
6	아프다	痛い
2	아홉	9つ、9個

課	韓国語	日本語対訳	課	韓国語	日本語対訳
4	안	中	5	영화	映画
3	안경	メガネ	4	영화관	映画館
8	안내	案内	0	옆	隣
4	앉다	座る	6	예쁘다	きれいだ、美しい、かわいい
7	알다	知る、分かる	0	오	五(5)
4	앞	前	5	오늘	今日
0	애	子供	4	오다	来る
0	야구	野球	0	오렌지	オレンジ
4	야구공	野球ボール	4	오른쪽	右、右側
9	야구장	野球場	2	오빠	兄、お兄さん
5	약	薬	8	오월	5月
4	약국	薬局	0	오이	キュウリ
1	약사	薬剤師	5	오전	午前
5	약을 먹다	薬を飲む	5	오후	午後
0	양말	靴下	8	올해	今年、当年
0	어깨	肩	0	옷	服
1	어느	どの、どのの	3	옷장	クローゼット
4	어디	どこ	3	-와	〜と
7	어렵다	むずかしい	0	왜	なぜ、どうして
2	어머니	母、お母さん	6	외국	外国
2	언니	姉、お姉さん	4	왼쪽	左、左側
1	언어	言語	5	요가	ヨガ
8	언제	いつ	5	요리	料理
0	얼굴	顔	1	요리사	料理人、コック
0	엄마	母、ママ	4	요리하다	料理する
0	엉덩이	尻	6	요일	曜日
4	-에	〜に	10	요즘	この頃、最近
4	-에서	〜で	7	우동	うどん
0	에어컨	エアコン	0	우리	私たち、我々
4	여기	ここ	3	우산	傘
2	여덟	8つ、8個	0	우유	牛乳
2	여동생	妹、妹さん	4	우체국	郵便局
6	여러	多くの、数々の、様々な、色々な	0	우표	切手
7	여름	夏	1	운동선수	運動選手
2	여섯	6つ、6個	4	운동하다	運動する
0	여자	女子、女	6	운동화	運動靴
5	여행	旅行	10	운전	運転
0	역	駅	10	운전면허	運転免許
3	연필	鉛筆	10	운전하다	運転する
10	연휴	連休	6	원	ウォン(韓国の貨幣単位)
2	열	十、10個	6	원피스	ワンピース
9	열다	開く、開ける	8	월	月
9	열심히	熱心に、一生懸命	6	월요일	月曜日
3	엽서	ハガキ	0	위	上
1	영국	イギリス	9	유람선	遊覧船
1	영어	英語	6	유명하다	有名だ

課	韓国語	日本語対訳
8	유월	6月
8	유학	留学
8	유학생	留学生
6	육	六 (6)
9	-으로	〜で、〜に
1	-은	〜は
4	은행	銀行
1	은행원	銀行員
5	-을	〜を
7	음식	飲食、食べ物
5	음악	音楽
1	-의	〜の
0	의미	意味
1	의사	医者
0	의자	椅子
0	이	齒 / 二 (2)
1	-이	〜が
2	이	この
2	이것(이거)	これ
8	이를 닦다	齒を磨く
1	이름	名前
8	이번	今度、今回、この度
8	이사	引っ越し
8	이사하다(=이사를 하다)	引っ越す、引っ越しをする
4	이야기하다	話す、しゃべる
8	이월	2月
4	이쪽	こちら、こっち、こちら側
10	인기	人気
6	일	一 (1)
7	일	仕事
8	일	日
2	일곱	7つ、7個
1	일본	日本
1	일본어	日本語
6	일어나다	起きる
6	일요일	日曜日
8	일월	1月
6	일찍	早く、早めに
4	일하다	働く、仕事する
5	읽다	読む
0	입	口
10	입다	(衣服を) 着る、履く
4	자다	寝る
9	자동차	自動車、車
9	자전거	自転車
5	자주	しばしば、度々、よく

課	韓国語	日本語対訳
8	작년	昨年
6	작다	小さい
3	잔	杯
5	잠을 자다	睡眠をとる、寝る
3	잡지	雑誌
4	장소	場所
6	재미없다	おもしろくない、つまらない
6	재미있다	おもしろい
1	저	私、自分
2	저	あの
2	저것(저거)	あれ
4	저기	あそこ
5	저녁	夕方 / 夕食
4	저쪽	あちら、あっち、向こう側
6	적다	少ない
3	전자사전	電子辞書
10	전통차	伝統茶
10	전화	電話 (機)
10	전화를 걸다	電話をかける
4	전화하다	電話する
5	점심	昼 / 昼食
3	점원	店員
8	정리하다(=정리를 하다)	整理する、整える
6	정말	本当に、実に、とても
1	제(저의)	私の
6	조금	少し、わずか、ちょっと
7	조용하다	静かだ
8	졸업하다(=졸업을 하다)	卒業する
6	좋다	良い
5	좋아하다	好きだ
5	주말	週末
9	주무시다	お休みになる
1	주부	主婦
3	주스	ジュース
9	준비하다	準備する、用意する、備える
7	중	中、中間
1	중국	中国
1	중국어	中国語
2	중학생	中学生
3	지갑	財布
4	지금	今
8	지난	昨、先の、前の、去る
8	지난달	先月
8	지난주	先週
0	지도	地図
3	지우개	消しゴム

課	韓国語	日本語対訳
9	지하철	地下鉄
1	직업	職業
9	직원	職員
0	집	家
8	김들이	移転祝い、引越した祝いの宴
7	짜다	しょっぱい、塩辛い
7	짜장면(=자장면)	ジャージャーメン
6	짧다	短い
4	쪽	側、方
5	찍기	(写真を)撮ること
0	차	車 / 茶
3	창문	窓
0	책	本
3	책상	机
6	천	千 (1000)
6	청바지	ブルージーンズ、ジーパン
6	청소	掃除
7	청소하다	掃除する
4	초대하다	招待する
6	축구	サッカー
4	축구공	サッカーボール
8	축제	祝祭、お祭り、フェスティバル
9	출발하다	出発する
8	출장을 가다	出張する
5	춤을 추다	踊りを踊る、踊る
7	춥다	寒い
5	취미	趣味
8	취직하다	就職する
0	치마	スカート
9	치킨	チキン、フライドチキン
0	친구	友達、友人
5	친구를 만나다	友達に会う
6	칠	七 (7)
8	칠월	7月
3	칠판	黒板
3	침대	ベッド
0	카드	カード
0	카메라	カメラ
1	캐나다	カナダ
0	캔	缶
0	커튼	カーテン
3	커피	コーヒー
4	커피숍	喫茶店、コーヒーショップ
3	컴퓨터	コンピュータ
0	컵	コップ、カップ
0	케이크	ケーキ

課	韓国語	日本語対訳
0	코	鼻
6	코트	コート
5	콘서트	コンサート
3	콜라	コーラ
6	크다	大きい
0	키	背、身長
9	타다	乗る、乗り込む
6	탁구를 치다	卓球をする
5	태권도	テコンドー
9	택시	タクシー
5	테니스를 치다	テニスをする
0	텔레비전	テレビ
0	토마토	トマト
6	토요일	土曜日
6	티셔츠	Tシャツ
4	파티	パーティー
0	팔	腕
6	팔	八 (8)
5	팔다	売る
8	팔월	8月
4	편의점	コンビニ
0	편지	手紙
3	포도	ぶどう
0	표	切符
1	프랑스	フランス
5	피아노를 치다	ピアノを弾く
7	피자	ピザ
3	필통	筆箱
3	-하고	〜と
2	하나(한)	1つ、1個
0	하늘	空
4	하다	する
6	하지만	しかし、だが (口語体)
4	학교	学校
1	학생	学生
10	학원	塾、(車の) 教習所、予備校
1	한국	韓国
10	한국말	韓国語
1	한국어	韓国語
9	한번	一度、一回
10	한복	ハンボク(韓服)、韓国固有の衣装
2	할머니	祖母、おばあさん
2	할아버지	祖父、おじいさん
0	해	太陽、日
0	핸드폰	携帯電話
0	허리	腰

課	韓国語	日本語対訳
2	형	兄、お兄さん
0	호랑이	虎
4	호텔	ホテル
6	화요일	火曜日
4	화장실	化粧室、トイレ
9	회	刺身
4	회사	会社

課	韓国語	日本語対訳
1	회사원	会社員
8	회의하다(=회의를 하다)	会議をする
10	후	後
3	휴지통	ゴミ箱
7	흐리다	(天氣が) 曇る
7	힙합	ヒップホップ
9	KTX	韓国高速電鉄の名称

## 「付録2」 韓国語教育の標準モデルでまとめられた初級レベルの文型項目一覧

区 分	文 型	意 味
連結	거나	
表現	게 되다	
連結	게 2, 게끔	目的
語末語尾の前	겠	
表現	고 싶다	
表現	고 있다	
連結	고 3	羅列
終結	군, 는군, 군요, 는군요	
転成	기	名詞形
表現	기 때문	
表現	기 전에	
表現	기로 하다	
表現	ㄴ 것 같다, 는 것 같다, 은 것 같다	
表現	ㄴ 지 2, 은 지 2	
表現	ㄴ 후에, 은 후에, 은 뒤에	
転成	ㄴ 3, 는 2, 은 3	冠形詞形(現在)
転成	ㄴ 4, 은 2	冠形詞形(過去)
連結	ㄴ데 1, 는데 1, 은데 1	
終結	ㄴ데 2, 는데 2, 은데 2	
表現	ㄴ데요, 는데요, 은데요	
表現	네요	
表現	는 것	
表現	는 동안	
表現	는 적이 있다, 는 적이 없다	
終結	니까, 으니까, 으니까요, 으니까는, 으니까	

終結	다 3	基本形
表現	ㄹ 것 같다, 을 것 같다	
表現	ㄹ 것 1, 을 것 1	
表現	ㄹ 때, 을 때	
表現	ㄹ 수밖에 없다, 을 수밖에 없다, 을 수 없다, 을 수 있다, ㄹ 수 있다	
表現	ㄹ 2, 을 2	
終結	ㄹ게, ㄹ게요, 을게, 을게요	
表現	ㄹ까 보다, 을까 보다	
終結	ㄹ까, 을까	
表現	ㄹ까요, 을까요	
表現	러 가다, 으러 가다	
表現	러 오다, 으러 오다	
連結	러, 으러	
表現	러고 하다, 으려고 하다	
転成	ㅁ, 음	名詞形
連結	면 2, 으면	
表現	면서, 으면서	
終結	버니까, 습니까	
終結	버니다, 습니다	
終結	버시다, 읍시다	
終結	세요, 으세요, 셔요, 으셔요, 으시어요	
終結	십시오, 으십시오	
表現	아 보다, 어 보다, 여 보다	
表現	아 있다, 아 계시다, 어 있다, 여 있다	
表現	아 주다, 어 주다, 여 주다	
終結	아 3, 야 3, 어 2, 여 2	

表現	아도 되다, 어도 되다, 여도 되다	
連結	아서, 어서, 여서	
表現	아야 되다, 어야 되다, 여야 되다	
表現	아야 하다, 어야 하다, 여야 하다	
表現	아요, 어요, 여요	
語末語尾の前	았, 었, 였	
表現	았으면, 었으면, 였으면	
語末語尾の前	으시, 시	
表現	지 말다	
表現	지 못하다	
表現	지 않다	
連結	지 1	
終結	지 2, 지요, 죠	
連結	지만, 지마는	
表現	가 아니다, 이 아니다	
助詞	가, 이	
助詞	과, 와	
助詞	까지 1	から, まで
助詞	계	
助詞	께서	
助詞	ㄴ 1, 는 1, 은 1	
助詞	나 1, 이나	
不規則	ㄷ 불규칙	
助詞	다 1, 이다 2	羅列
助詞	도	
不規則	ㄹ 불규칙	



助詞	르 1, 를, 을 1	
助詞	랑, 이랑	
助詞	로, 으로	
不規則	르 불규칙	
助詞	마다	
助詞	만 1	
副詞	못	
不規則	ㅂ 불규칙	
助詞	밖에	
助詞	보다	
助詞	부터, 서부터, 에서부터	
不規則	ㅅ 불규칙	
助詞	서 1	1人で
副詞	안	
助詞	에, 에다, 다가, 에다가	
助詞	에게, 에게로, 에게서	
助詞	에서, 서 2	
助詞	의	
助詞	이다 1	指定詞
助詞	처럼	
不規則	ㅎ 불규칙	
助詞	하고	
活用	— 활용	